

噴火時は

逃げる 隠れる 身を守る

登山者が雲仙岳の突発的な噴火に巻き込まれたときに、身を守る方法、身を隠せる場所、そして迅速な避難ルートを示しました。被災リスクを軽減するためにご活用ください。

※このマップは噴石による被害軽減を目的としていますが、必ず助かる(生命の安全を保証する)ことを示すものではありません。



心得・避難

突発的な噴火で発生が予想される現象

※突発的な噴火時には、この他に降灰、小規模な火砕流なども発生します。

噴石による被害【大きな噴石・小さな噴石】



噴石で被災した山小屋 (御嶽山2014年噴火) 小さな噴石の直撃で変形したコッヘル

噴石から身を守る方法



火山ガス



有毒成分を含んでおり、危険

身を守る方法



心得

- ・噴火は、突発的に起きる可能性があります。登山中は、常に火口付近の様子に気をつけましょう。
- ・緊急時の避難ルート(逃げる方向)や、身を隠せる場所(岩陰)をこの地図で確認しておきましょう。

噴火に巻き込まれたら

- ・地図の避難方向(逃げる方向)に向かって、噴火口から遠ざかる方向へ避難しましょう。
- ・噴石が飛んでいるときは、速やかに近くの建物や岩陰など、身を隠せる場所に避難しましょう。
- ・火山ガスや噴煙等により3紅葉茶屋から2あざみ谷へ降りるルートが通れないときには国見分かれに登るう回路(←)へ進みましょう。

写真提供(敬称略):満行豊人、信濃毎日新聞社、長野県警察 この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)、数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)及び基礎地図情報を使用した。(承認番号 平29情使、第1476号) 作成:2018年3月

突発的な噴火時に身を隠す場所(目安)

登山中は下の事例写真を参考にして、自分の近くにある建物や岩陰などに身を隠しましょう。



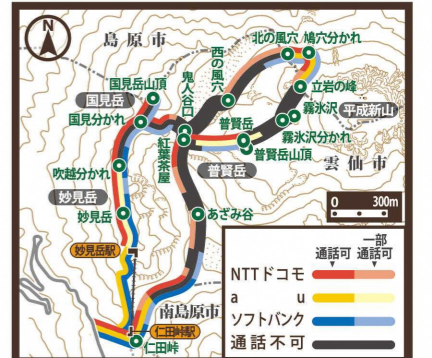
風穴(例)

岩陰(例)

凡例 Legend

- 噴火警戒レベル2の立入規制区域(登山道) Volcanic Alert Levels 2 Restricted Access Zone (Trail)
- 登山道(一方通行) One-way Trail
- 距離・所要時間 Distance and Duration 260m ← 15分 →
- 主要地点番号 Marking Post Number 5 13
- 警戒区域(立入禁止) Restricted Area
- ヘリコプター救出地点(吊上げ) Rescue Point by Helicopter SOS
- 避難方向 Direction to Evacuate
- 身を隠せる場所(目安) Potential Shelter for Self-protection (temporal)

携帯電話利用可能エリア



登山中は常時携帯ON!

携帯電話の電池残量や電波状況を確認しましょう。携帯電話利用可能エリアは、電波状況や一部の機種によっては利用しづらい場合があります。最新の情報は各社ホームページ等を参照してください。(平成30年2月時点の情報を参考に作成)

情報入手



雲仙岳の状況は、気象庁のホームページで定期的に更新されています。登山前や登山の休憩中に、携帯端末やテレビ、ラジオで火山活動情報を確認しましょう。

検索 火山登山 気象庁 雲仙

避難場所

雲仙岳の登山道にある、頑丈で安全な退避場所です(図2範囲)。



噴火警戒レベルが上がるときの噴火が発生したとき【噴火速報】が発表されます。活動が活発化したとき解説情報が発表されます。

その他の情報手先

- 国土交通省 雲仙温泉観光協会
- ライブカメラ 近辺情報
- ロープウェイ 雲仙ロープウェイ
- 道路 仁田峠循環道(雲仙市)

詳細はWeb版で!

WEB版 雲仙岳登山道防災マップ このマップの詳細情報を配信しています。